

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：泉の郷保育園なかだ	種別：認可保育所	
代表者氏名：高野 幸子	定員（利用人数）：62 名	
所在地：〒245-0014 横浜市泉区中田南2-15-35		
TEL：045-392-6171	ホームページ： <a href="http://www.seikoukai.info/seikoukaihp/hoikuen/">http://www.seikoukai.info/seikoukaihp/hoikuen/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2018年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人誠幸会		
職員数	常勤職員：18 名	非常勤職員：9 名
専門職員	（専門職の名称）： 名	
	保育士21名：うち幼稚園教諭免許所持16名、小学校教諭免許所持1名	
	看護師：1 名	管理栄養士：1 名
	調理師：1 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	5歳児幼児室1室	給食室1室
	4歳児幼児室1室	事務室1室
	3歳児幼児室1室	保健室1室
	2歳児乳児室1室	子育て支援室・一時保育室1室
	1歳児・0歳児乳児室1室	調乳室2か所
		休憩室1室
	屋上園庭	

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

明るく 健やかに

- 心豊かな子ども
- 思いやりのある子ども
- 元気な子ども

## &lt;基本方針&gt;

1. 一人ひとりの個性を尊重し、家庭的な雰囲気の中で、信頼関係を築く。
2. 遊びを通して、のびのびと育つ環境を整える。
3. 自然体験や社会体験を重視する。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

＜泉の郷保育園なかだの特徴的な取り組み＞

- ・ 戸外活動をふんだんに取り入れ、直接体験による個の育ちを重視しています。
- ・ 社会体験、自然体験をとおり、心豊かで元気な情操を養う保育をしています。
- ・ 読み聞かせを大切に、多くの本や紙芝居と触れ合い、言葉の獲得や興味関心、自主性を伸ばしています。
- ・ 子どもが自ら「やりたい」「知りたい」と感じたことを保育の広がりとしてとらえ、活かしています。
- ・ 法人で運営している施設にて高齢者、障がい者との交流を行っています。
- ・ 内部研修を行い、保育技術の向上を目指しています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年09月10日（契約日） ～ 2021年03月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

#### ⑥総評

【泉の郷保育園なかだの概要】

●泉の郷保育園なかだは、平成30年4月に社会福祉法人誠幸会（以下、法人という）により設立されました。法人は、横浜市泉区を中心に、高齢者介護・障害者支援・保育を軸にした総合福祉法人であり、福祉サービスの提供を幅広く社会に貢献しています。平成24年に横浜市認定の横浜保育室として「泉の郷保育園」を開設し、平成28年には認可保育園「泉の郷保育園いずみ」が設立され、そして、令和2年に企業主導型保育園「泉の郷保育園かみいいた」が開設されました。

●泉の郷保育園なかだは、先に開園した「泉の郷保育園いずみ」を参考に、使いやすさを重視して改善され、保育園専用に建てられた2階建て園舎です。屋上には屋上園庭もあり、夏場はプールを組み立てて遊びます。園は、地下鉄中田駅から徒歩2分、長後街道を少し入った静かな住宅地の一角に位置しています。

●泉の郷保育園なかだの理念は「明るく 健やかに」であり、理念に沿った基本方針を3つ掲げ、実践しています。「泉の郷保育園いずみ」のノウハウを生かし、法人の保育事業を担うべく、常に相談しながら運営を推進しています。また、法人が有する高齢者施設と世代間交流を図り、障害者作業所ではパンの購入や、障害者施設入所者が野菜を栽培する畑では芋掘り体験を行う等、活発に交流が行われています。法人の施設は泉区に集中しているので、今後さらに、様々な施設との交流を図って行く予定であり、子どもたちに豊かな生活、体験を提供しています。

◇特に評価の高い点

1. 【伸びやかで豊かな心を持った子どもの育成】

●泉の郷保育園なかだの特徴の1つに3歳～5歳での異年齢保育に重点を置いています。兄弟の少ない家庭が増加傾向の昨今、異年齢により疑似兄弟の体験が出来るメリットがあります。子どもは、本来、伸びやかで豊かな心を秘め、幼少時ならではの柔軟な心は、保護者の深い愛情と保育士のきめ細やかな保育、そして、温かい眼差しで育まれます。年齢の異なる子どもたちが一緒に遊べば年上の子どもは年下の子どもを思いやり、おもちゃも年下の子どもが望めば貸してあげる等、他者を思いやる気持ちが芽生えます。年下の子どもは年上の子どもを尊敬し、目標にし、自分が年長者になった時には経験を生かしてお兄ちゃん、お姉ちゃんの役割を担うようになります。今年はコロナ禍の影響

で異年齢保育は中断とのことであり、年齢別保育の良さを再認識するチャンスでもあります。年齢別保育のメリットをより取り込んだ良い異年齢保育の形が完成すると思われまますので、コロナ禍を一つの契機とし、伸びやかで豊かな心を持った子どもの育成に一層力を注いで欲しいと思います。

## 2. 【自社高齢・障害施設との交流と地域関連施設のネットワーク】

●法人は、横浜市泉区を中心として高齢者施設、障害者施設を集中的に幅広く展開しています。地域との交流の1つとしての意義と共に、泉の郷保育園なかだの子どもたちにとって、異なる年齢層とのコミュニケーションによる新たな経験をし、高齢者にとっても生きる活力となっています。さらに、障害者との交流は障害を持った人たちとのノーマライゼーションを身近に体験できる貴重な時間となっています。交流の面においては、高齢者施設の職員との交流、障害者作業所（いずみのさと）の就労継続支援B型の方々が作るパンの購入と昼食での使用や、障害者入所施設の畑で芋掘り体験をさせてもらう等、貴重な体験を提供しています。泉の郷保育園なかだでは、自社のネットワークに加えて、地域の保育園、社会的養護施設等との連携を深めて保育に当たっています。

## 3. 【環境を生かした伸びやかな保育】

●泉の郷保育園なかだは、中・長期ビジョンでは、児童福祉法に基づき「保育を必要とする」乳幼児に対し、子どもの人権や主体性を尊重しながら、環境を通じて養護と教育が一体となった保育を行うことを定めています。環境については、園の周囲には自然が残っており、子どもたちは散歩を兼ねた園外保育に出かけ、多くの自然の中で五感を刺激し、豊かな感性を養うと共に地域の方々と触れ合う機会も作っています。公園は、中田町第一公園から第九公園の他、中田町鯉久保公園、しらゆり公園、中田ふれあいの樹林等が点在し、恵まれた環境を生かし、子どもたちは伸び伸びと遊び、その中から多くを学び、吸収しています。

### ◇改善を求められる点

#### 1. 【地域との関係のさらなる強化について】

●泉の郷保育園いずみは、表通りから少し奥まった住宅街の中に位置しています。立地上、周囲の住民との友好的な関係作りは必須であり、園庭や園の駐車場でのイベントには近隣住民の方々に積極的に声かけを行う等の努力がさらに必要と思われまます。付近の商業施設や自治会と連携できるような催しもの、イベント等を企画し、交流をより深めていく工夫を期待いたします。住宅が密な場合は、苦情等が出やすい反面、地理的な近さは連携し易さにもつながり、有事の際の協力も見据え、地の利を生かした関係構築をさらに目指していただきたいと思います。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：泉の郷保育園なかだ

### <評価に取り組んだ感想>

開園3年目で初めての受審でした。職員が全員で自己評価に取り組んだことで、園の運営に関わる取り組みを考え、課題を認識することができました。また、グループごとに自己評価を取りまとめたことで、正職員とパート職員の認識の違い、職員の保育に対する意識づけや再確認をし、話し合いを持つことができました。

保育所版自己評価では保育への姿勢、子どもの人権、環境構成の見直し、マニュアルの整備に対して、現状の課題、今後に向けて改善を要することが明確になりました。第三者評価を受審したことで、園、保育士個人の足りない部分だけでなく、長所となる部分を再確認できました。

初めての受審でしたが、より良い園づくりを行うために必要なことが具体的に分かりました。今回の結果をもとに、より良い園運営を目指していきます。

<評価後取り組んだ事として>

1. 行事の工夫と保護者対応の見直し
2. マニュアルの精査・見直し、改訂
3. 保育実務の見直しと確認  
(園目標実施の徹底、人権理解と尊重、保育実務の向上、環境設定の再確認)

⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり